

# 林いさお通信



ブログ：<http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228 共に!!  
討議資料 No. 145 女子栄養大学と締結 29年10月27日号 林いさお後援会



調印式で香川学長と：右隣（10月18日）

10月18日、三芳町は、女子栄養大学と連携協力に関する包括協定を締結しました。

女子栄養大学とは、すでに三芳町保健センターにおいて個別協定を締結し、教育実習生を受け入れ、食育、健康教育などの健康長寿に関する事業に携わっていただいています。

今後、農産物の商品開発、食育・健康増進、政策立案協力など様々な分野で事業展開を行っていききたいと思います。当日、キャンパスでは富の川越いも500本を学生の皆さんに配布。長蛇の列ができました。すべてなくなっていました。これを機に三芳の「富の川越いも」がさらに広く認知されることを願っています。

## 女子栄養大学と

### 包括協定締結



DNPの皆さんと意見交換



建材用シートを手にして

工場にお邪魔させていただきました。1970年に建材事業部としてスタートし、現在は生活空間事業部として、住まいや車両などの空間デザインの提案や施工の容易な工法の開発などを手掛けています。意見交換では、前面道路の整備については敷地拡張をするなど、東京工場は会社としての位置づけは高いと評価されているそうです。

手にしているのは工場見学で見した建材用化粧シートです（写真下）。独自のコーティング技術を活かして、キズや汚れに強い壁紙や床材など長寿命化を実現する製品の供給に努めているとのこと。貴重なご意見をありがとうございました。

## ★企業訪問 (株)大日本印刷 (DNP)

三芳町では、昭和30年代から積極的に企業誘致を進めてきました。しかしながら、近年では生産機能・業務拡大等を契機として、地方への移転を計画している企業も増えてきました。

そこで、町内の企業・事務所を

町長自ら訪問して、現在の要望や課題等を拝聴するとともに、企業の操業しやすい環境づくりを図るため、「町長の企業訪問」を実施しています。

今回は、竹間沢地区で操業されている(株)DNP生活空間東京

## ◆フォト通信◆



①家族でいも掘り（9月30日）



②巫女舞（9月30日）



③開会式にて（10月30日）



④ 隊員の皆さんと（10月12日）

### ①世界一のいも掘りまつり

第7回世界一のいも掘りまつりが開催。1000人近くの方々にご参加いただき、440mの世界一長い畝でいも掘りを行いました。NHKニュースでも紹介され、年々参加者も増え、町の重大行事になっています。

### ②資料館まつり

竹間沢公民館、旧池上家で資料館祭りが開催されました。北永井囃子保存会、竹間沢里神楽保存会の伝統芸能に芸術文化の秋を堪能しました。竹間沢里神楽保存会は、11月4、5日でマレーシアのペタリング・ジャヤ市のフェスティバルに参加します。

### ③町民体育祭

第58回町民体育祭が、好天に恵まれ開催されました。町民が一堂に会する体育祭。競技を通して町が一つになったように思います。総合優勝連覇の藤久保6区さんおめでとうございます。そして、運営に携わっていただいた実行委員会の皆様に感謝です。

### ④三芳町役場3位

自衛消防隊消防操法競技大会が開催され、三芳町役場は堂々の3位入賞を果たしました。三芳町役場を訪れる皆さんの安全第一を考え、日々防災活動に励み、訓練を重ねてきました。



⑤竹間沢小学校体育館（10月14日）



⑥西条市（9月12日）



⑦三芳町民音楽祭（10月22日）



⑧武蔵太鼓のオープニング（10月22日）

### ⑤第4回地域連携避難訓練

東京湾北部を震源とする震度6弱の地震が発生したことを想定。8つの指定避難所に14行政区1500人が参加し、避難所訓練並びに各種防災体験訓練を行いました。今年は竹間沢で挨拶。

### ⑥愛媛県西条市視察

シティプロモーション自治体等連絡協議会の自治体視察で愛媛県西条市に。

西条市だんじり祭りの視察後、意見交換。2日目は、西条市玉井市長から「西条市のまちづくり」について講演をいただき、その後、鉄道歴史パーク、観光交流センターを視察。写真左から茨城県堺町長、静岡県小山町長、愛媛県西条市長、私。有意義な研修でした。

### ⑦文化祭はじまる

10月15日の「カラオケの集い」をトップバッターに11月5日まで第52回町民文化祭が開催されています。三芳町も1年を通して最も芸術文化が香る季節です。ぜひ足を運んでいただけたらと思います。

### ⑧ネイチャーイベント

藤久保の平地林が、埼玉緑のトラスト保全14号地に認定されたのを記念して「ネイチャーイベント」が開催。今年度整備をおこない、子供たちの環境教育、住民の皆さんの憩いの場として、来年度4月オープン予定です。